口腔内ジョイスティック コントローラーの開発

医療福祉工学寺島研究室 200611030 佐藤直樹 200611042 種村宗貴

背景

上肢を動かすことが可能

→ ジョイスティックで操作

上肢を動かすことが不可能

→ 別の操作が必要



既存の方法と問題点

- ・チンコントロール(顎で操作するジョイスティック)
- → 首が動かせない重度障害者は使用できない
- 音声認識、視線認識操作
- → 外乱の影響で誤作動するため 危険が伴う



研究目的

使用者への負担軽減、 使用条件を選ばない 操作装置の開発が必要



舌運動を利用



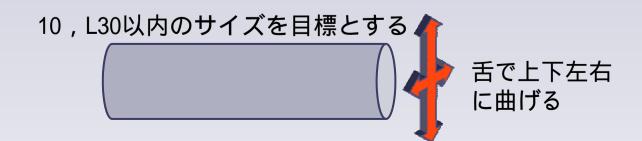
柔らかいジョイスティックの開発

仕樣

大きいサイズ,固いもの

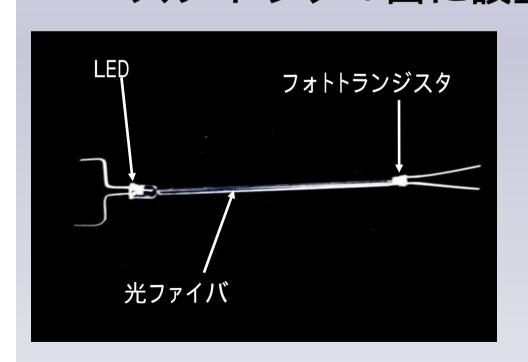
操作しにくい& 唾液で不衛生,外観に問題

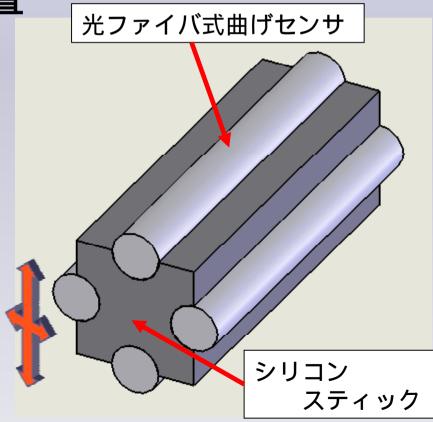
柔らかく小型のジョイスティックが必要!!



光ファイバ式

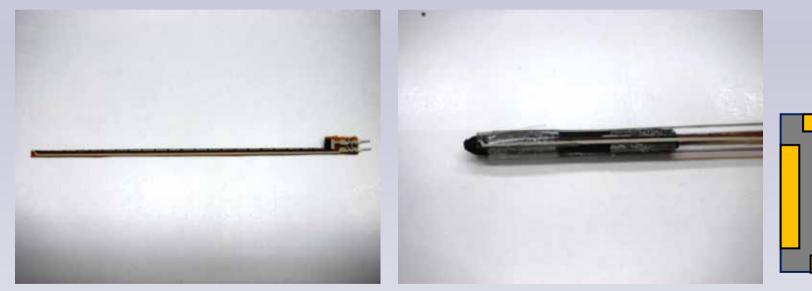
・光ファイバ式曲げセンサを スティック4面に設置

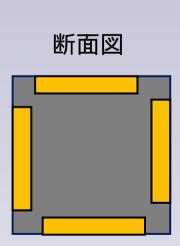




曲げセンサ式

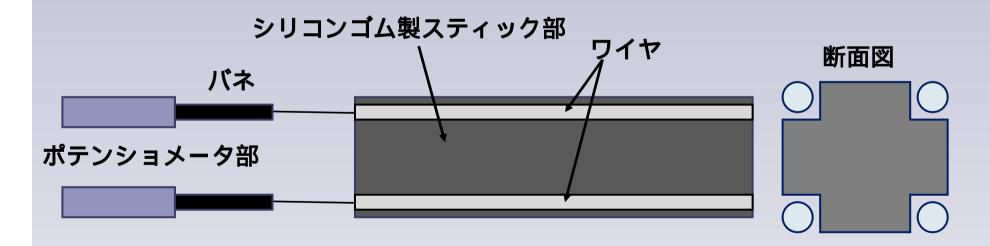
• 曲げセンサをスティック 4 面に設置





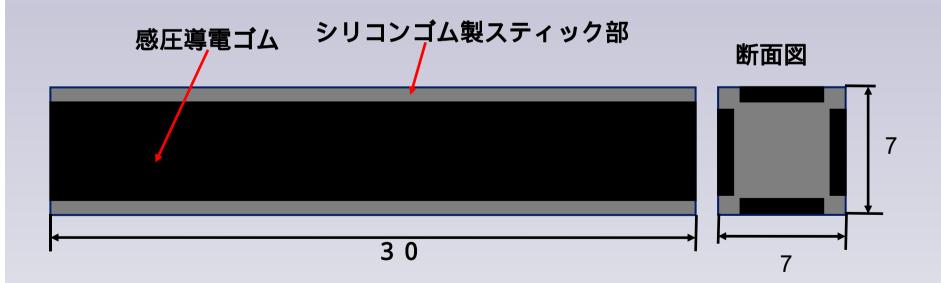
ポテンショメータ式

スティック部の曲率の差を ポテンショメータで検知



感圧導電ゴム式

・スティックの4面に設置された 感圧導電ゴムの抵抗変化で検知



問題点

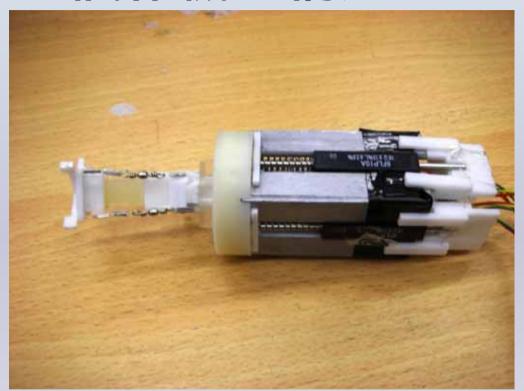
- 曲げセンサ式:非常に硬くなる
- ・ 光ファイバ式: 非常に硬くなる

方向の判別ができない

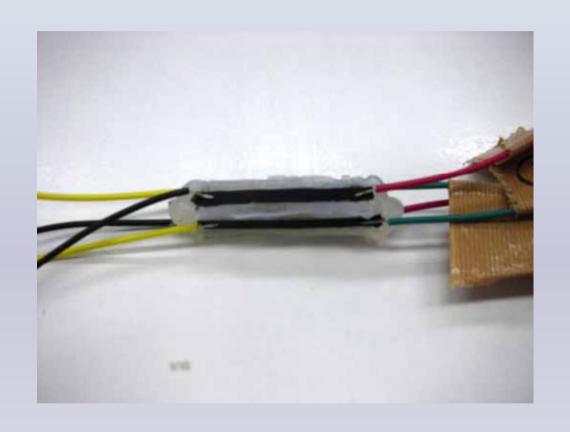


利用しやすいポテンショメータ式、 感圧導電ゴム式で研究・開発

試作機の構造



- プラスチック板
- ポテンショメータ(栄通信工業社製)
- プラスチックワイヤー
- 丸線コイルスプリング



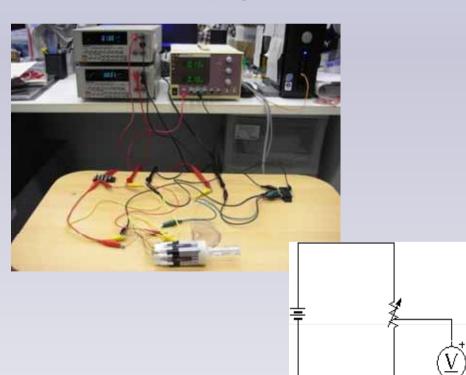
感圧導電ゴム式

- 導電ゴム : EC20-BH (信越シリコーン社製)
- ゴムスティック:RTVゴムKE-3479(信越シリコーン社製)

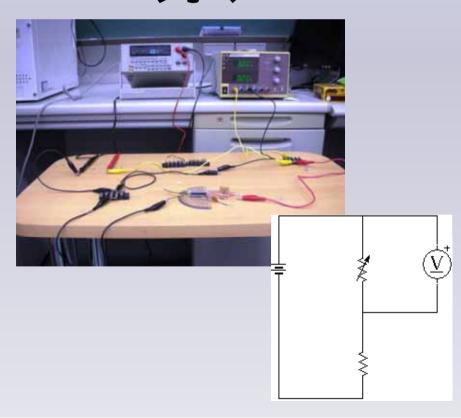
実験方法

曲げ角度と電圧の関係を測定



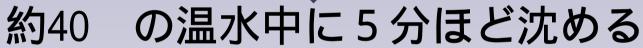


5 °刻み

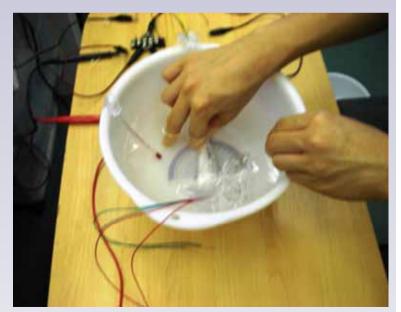


温水中での実験 (温度変化による影響の検討)

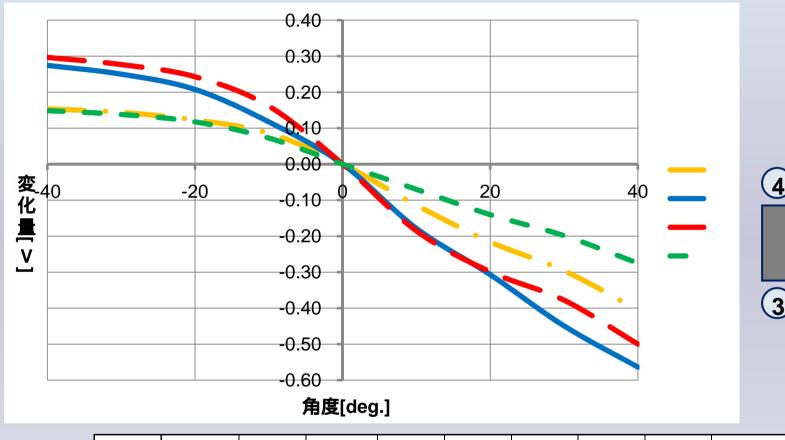
ビニール袋に試験機を入れる

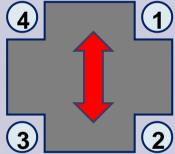


30°に曲げ、室温の場合との電圧変化を比較



実験結果(ポテンショメータ式)

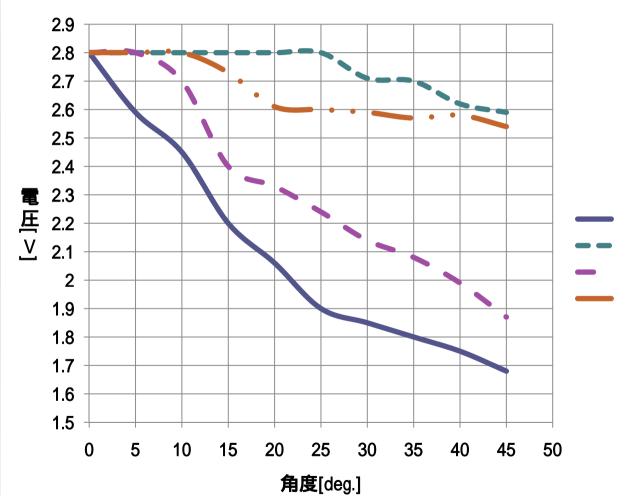




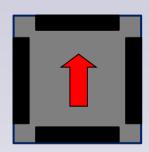
-40	-30	-20	-10	0	10	20	30	40
0.15	0.14	0.12	0.09	0.00	-0.11	-0.22	-0.30	-0.41
0.27	0.25	0.21	0.12	0.00	-0.18	-0.31	-0.45	-0.56
0.30	0.28	0.24	0.16	0.00	-0.19	-0.30	-0.38	-0.50
0.15	0.14	0.12	0.07	0.00	-0.07	-0.14	-0.20	-0.28

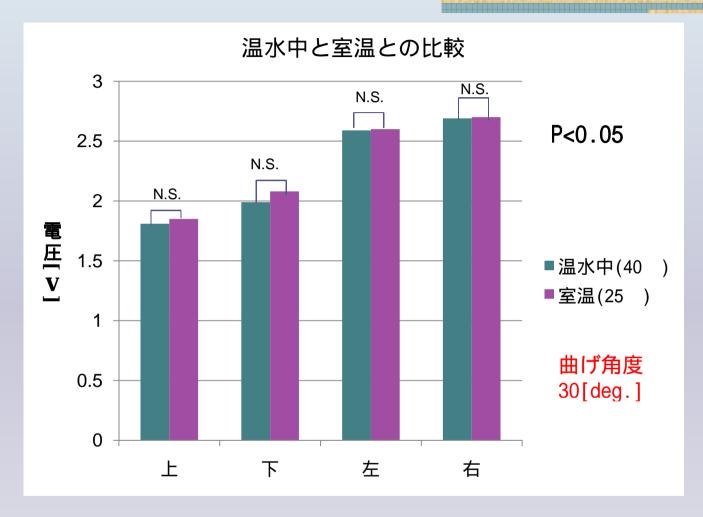
感圧導電ゴム式





角度				
0	2.80	2.80	2.80	2.80
5	2.59	2.80	2.80	2.80
10	2.45	2.80	2.70	2.80
15	2.20	2.80	2.40	2.73
20	2.06	2.80	2.33	2.61
25	1.90	2.80	2.24	2.60
30	1.85	2.71	2.14	2.59
35	1.80	2.70	2.08	2.57
40	1.75	2.62	1.99	2.58
45	1.68	2.59	1.87	2.54





条件	上	下	左	右
温水中(40)	1.81	1.99	2.59	2.69
室温(25)	1.85	2.08	2.60	2.70

考察

・ポテンショメータ式 実験結果より方向識別が可能

・感圧導電ゴム式7 mm角の試作機で方向識別が可能

まとめ

柔らかいジョイスティック開発を 目的として実験を行う



共に口腔内ジョイスティック としての活用が可能

ご清聴ありがとうございました

科学研究費助成金基盤(C)21500524 内田エネルギー財団試験研究費助成金2009-40